

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 32-004

PDCA	事務事業名	議会情報関係事業	部課等名	市議会事務局 議事課 議事担当	担当	小池
					内線等	544
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第6章 自立した地域経営のまち				
		節： 第1節 行財政運営とサービスの向上				
		基本施策： 1. 行政運営				
		単位施策： 個別施策：				
	根拠法令等	—				
	対象・目的	市民に対し開かれた議会を目指し、議会日程、一般質問要旨、会議録など議会に関する情報を適切に提供する。また、情報公開に関しては可能な限り要請に応える。				
	目的を達成するための手段・活動内容	全戸配布する「はんだ市議会だより」の発行にあたり、広報委員会を開催し編集作業を行う。議会ホームページにより最新情報を提供する。情報公開条例に基づき情報を開示する。開かれた議会となるよう、議会報告会や市民と交流するイベントを実施する。				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	元年度	単位
		①「はんだ市議会だより」の発行回数	5	5	5	回
		②市議会広報委員会開催回数	19	10	16	回
		③会議録検索システムの更新回数	7	8	7	回
		事業費	3,514	3,539	3,434	千円
		人件費	4,759	4,060	3,726	千円
		総事業費	8,273	7,599	7,160	千円
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位	
	①「はんだ市議会だより」発行1回当たりのコスト	615,769	633,509	584,681	円	
	成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位
議会情報提供を滞りなく円滑に行うことができた。		実績値				
		目標値				
		実績値				
		目標値				
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ある
		②市民ニーズ	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	B 会期日程に合わせた情報発信を滞りなく行うことができた。また、開かれた議会となるように編成されている「広報」「広聴」「交流企画」委員会において、市民への情報発信の強化等に必要課題に向き合い、改善を行った。特に、若い世代にも議会に関心を持ってもらえるよう高校生や大学生との意見交換会を年2回実施し、議会だよりの紙面構成に関する改善提案（暖色を使用する、QRコードの活用、写真の挿入、字体を大きくする等）を即実行し、読みたくなるような紙面づくりに努めた。				
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進 全議員が、広報、広聴、交流企画のいずれかの委員会に所属しているため、議会からの情報発信がより丁寧を実施されるように努めているが、議会報告会においては、より多世代の市民参加がされるよう、実施方法を見直す必要がある。また、ホームページの内容改善を行うことと併せて、新たな媒体（SNS等）を活用した議会からの情報発信を検討していく。				
	令和元年度の目標	成果指標	目標値	単位		
		円滑な議会情報提供が目標であり、成果指標の設定が困難であるため、文章にて成果を表記する。				